



☆祝 コンクリート打設30,000m³達成 コンクリート打設進捗率 50%到達(H28.6.30時点)

和かつば

和食ダムでは平成28年6月30日に堤体コンクリート打設量が3万m³に達し、これにより堤体の約半分が出来あがりました。

当日は、和食ダム本体工事JVの作業員により、無事に打設完了したことを祝い、記念撮影(右写真)が行われました。

これも地域住民の皆様のご理解・ご協力のおかげです。ありがとうございます。

この機会に再度「安全第一」の作業を心がけ、和食ダム完成に向けて地域住民の皆様と共に進んで参りますのでよろしくお願いします。



下流側から
ダム正面を見る



ドローンを使って上空から撮影したがやき。
「撮影者:ダムマイスター
安河内 孝氏」

工事情報

和食ダム 現在の様子 (H28.7.7撮影)

付替村道も良く見えるねえ。



(→川の流れの方向)

和食ダム 現場見学会

高知県新規採用職員・清水ヶ丘中学生・市町村新任職員・高知県高知土木事務所 現場見学会

高知県新規採用職員



座学



右岸展望台より

清水ヶ丘中学生



座学



付替道路見学

市町村新任職員



座学



仮設備見学



5月に高知県新規採用職員、7月に市町村新任職員を対象にした高知県建設技術公社主催の研修会が和食ダム建設現場で行われました。両日とも15~20名程度の方が参加され、座学と現場見学を通じて、土木技術に関する学習をしていただきました。質問も多数いただき、良い現場見学会であったと思います。

5月には清水ヶ丘中学校の生徒2名も職場体験学習として来てくださり、県職員の仕事はどういったものか学習していただきました。もしかすると、何年後かには一緒にお仕事をしているかもしれませんね。

また、6月には高知県高知土木事務所主催の研修会が行われました。当日は5名の高知土木事務所職員の方が参加し、座学と現場見学による研修を行いました。同じ高知県の土木技術者として熱心に学習していただきました。

芸西村の史跡紹介【第5弾】

登録有形文化財「末延家と住居」



位置図

《末延家と住居》

末延家は古代豪族であった物部氏に先祖が繋がっていると言われて^{すえのぶ}います。先祖末延小太郎の子、弥左衛門の時に和食に住^{すえのぶにたろう}んでいました。末延家住居は南ドイツ風の木造二階建てで、医院兼住居として建築され、昭和32年まで医院として使用されてい^{やざえもん}ました。

平成11年(1999年)、文化庁により、安芸市の野良時計に次ぐ県下で2番目の登録有形文化財に登録されました。

次回は「藤ノ上の吉田市左衛門」です！



すえのぶ
末延家と住居

清掃ボランティア

和食ダム建設事務所周辺道路の草刈り



6月19日(芸西村の環境の日)に和食ダム建設事務所の職員一同で、工事用車両を通行させていただいている和食ダム建設事務所周辺道路の草刈りを行いました。

当日は天気心配でしたが、作業中は小雨程度で暑すぎず、作業が出来ました。(作業終了後、事務所に帰った途端土砂降りの雨となり、間一髪でした。)



黙々と作業をする
汲田所長



道路に草や土を置かないよう清掃もバッチリです。